

1 授業について

活動名	2年盛岡宿泊体験学習 ～みんなでM・T(学んで、楽しもう)～ 本時 4/7
本時のねらい	班で協力しながら、盛岡ウォークラリーの行動計画を立案することができる。
指導にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡の自然文化に関心を持ち、仲間との信頼関係を深め、自主的自律的に旅行に取り組ませる。 ・学年や班員の一員としての自覚をもち、平素と異なる生活環境の中での行動の在り方について考え、判断し、協同して実践させる。 ・旅行・集団宿泊的行事の意義や、望ましい集団生活の在り方、公衆道徳などについて計画から体験を通して理解させる。
視聴覚教材・教育機器を活用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ■課題の提示 ■本時の流れの提示 ■資料の提示 ■情報の共有 ■情報の収集 ■情報のまとめ
使用する視聴覚教材・教育機器	<ul style="list-style-type: none"> ■PC ■プロジェクター ■スクリーン ■実物投影機

2 授業の流れ

段階	主な活動	・留意点 ※準備物等 ○評価規準
導入 10分	1 本時の課題と活動の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに本時の課題と活動の流れを、ある程度の時間の区切りとともに示す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 班で協力して、盛岡ウォークラリーの行動計画を立てよう </div> 2 盛岡ウォークラリーのルールと安全上注意が必要な道などを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで、「盛岡ウォークラリー」のルールを、生徒用PCのセンター画面で注意すべき道を全体で確認し共通理解させる。 ※教師用パソコンからは、生徒用PCセンター画面へ特に安全上注意する道路の動画を示す。 ※実物投影機では常に「盛岡都心循環バスでんでんむし」の地図を示し、活動範囲のイメージを共通理解させる(途中経過の発表でも使用)
展開 30分	3 各班の最初の研修ルートを決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・右周りルート(赤)は「石割り桜」、左回りルート(緑)は「盛岡城跡公園」に行かせ2班がスタート時に別々の行動をさせ、班ごとの活動に独自性を持たせる。
	4 班で活動計画を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで行き先とそこでの活動時間を確認しながら、行程、移動の仕方を考え、必要な入場料金を考える。 ・行き先とでんでんむしの地図や関連HPを見ながら、ルートを探る。 ※表計算ソフトにまとめた必要検索リスト
終末 10分	5 途中経過の発表と完成までの次時の取組を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚機器を使い全体で発表する。 ※「盛岡都心循環バスでんでんむし」の地図上にOHPシートを重ねた物にルートを書き込み説明をし、完成を見越した次時の予定を発表する。
	6 本時の振り返りをする。 【4つのわ】 わくわく(意欲)度 関わり合い(学び合い)度 分かる(理解)度 わらい(満足)度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○盛岡の自然文化に関心を持ち、仲間と協力しながら、自主的に計画立案に取り組んでいる。【関心・意欲・態度】(ワークシート・観察) </div>